

## 健康起因事故撲滅を誓う

OCHIS

設立20周年の節目機に

ヘルスケアネットワーク(「OCHIS」、武田裕理事長)は、今年で設立20周年を迎えた。武田理事長は「トラック業界を取り巻く環境が激変する中、ドライバーの安全、安心にこれまで以上に焦点が当たっている」とし、今後、蓄積した健康面のビッグデータを生かして健康起因事故の撲滅

を改めて誓った。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)が企業責任として問われたのは、2003年に起きた新幹線運転士の居眠り運転だった。作本貞子副理事長は当時を振り返り、「SAS対策がドライバーの安全と健康につながると確信を持った」と語った。

OCHISは、SASスクリーニング検査と「運輸ヘルスケアナビシステム<sup>®</sup>」を両輪とし、健康の啓発から後方支援まで幅広く扱っている。作本副理事長は今後の方針として、①肥満、高血圧、脂質異常、高血糖のハイリスク者の低減につながる高血圧対策のSAS対策③企業とドライバーの健康教育④生活習慣アドバイザーの重点項目4点を挙げ、ドライバーが安全、安心に活躍できるよう、健康管理をよりサポートする考えを示した。(遠藤 仁志)